



アカシデ(カバノキ科)里山の代表的な樹種の一つ、宮城県の雑木林に普通にある。



アカミノイヌツゲ(モチノキ科)船形山や栗駒山などの比較的高山で見られる、赤い実が特徴。



アキグミ(グミ科)河原などにみられる灌木、秋に赤く丸い実が熟するが渋い。



アキシバ(ツツジ科)山の峰筋など痩せ地に多い。ピンクの花びらが反り巻いて咲く。



アズマザサ(イネ科)里山の笹で林縁に群落を作り林内は少ない。高さ1.5~2.5m



イソノキ(クロウメドキ科)湿地に生育する珍しい低木。世界谷地にある。



イタヤカエデ1(カエデ科)ブナ林の代表的樹種、直径1mの大木もある、管内に普通。



イタヤカエデ2(カエデ科)花は黄色で葉の展開と同時に咲く。紅葉は黄色で美しい。



イヌブナ(ブナ科) 里山に多い、ブナとは葉裏に毛がある側脈が多い、樹皮が粗いことが違い。



ミヤマイボタ(モクセイ科) 灌木、白い花と黒い実が特徴、あまり多くはない、大きな葉はハンノキ。



ウラジロハナヒリノキ(ツツジ科) ハナヒリノキの高山型で高山植物、毛が少なく葉の裏が白い。



ウラジロノキ(バラ科) 葉裏が白いのが特徴、白い花と赤い実を付ける、やや乾燥地に多い。



エゾアジサイ(ユキノシタ科) ブナ林のアジサイ類で装飾花が濃い青で美しい花を咲かせる。



ウラジロヨウラク(ツツジ科) 尾根筋など脊梁地に多い灌木、花が美しいが色の変化が大きい。



ウワミザクラ(バラ科) ブナ林内に普通、白くブラシ状に花が咲く、実は赤から黒くなる。



オオカメノキ(スイカズラ科) ブナ林の林床に普通に見られる、白の装飾花が目立つ、実は赤から黒。



オオバスノキ(ツツジ科) 痩せ地に多い、風鈴型の花で実は黒く熟し食べられる。



エビカライチゴ(バラ科) 茎や葉に刺と毛がびっしり付く、実は甘くおいしい、あまり多くない。



オオバツツジ(ツツジ科) 名の通り大きな葉が特徴、花は薄い赤に地味な白、湿地に生育、稀、船形山



オオバクロモジ(クスノキ科) ブナ林の林床に普通、材を和菓子の楊枝、かんじき等に利用する。



オトコヨウゾメ(スイカズラ科) 里山にある灌木、花は白で装飾花はない、ガマズミでは葉が小さい。



オニグルミ(クルミ科) 湿潤地に多い高木、成長が早いあまり太くはならない、実はリスなどの好物。